

ニューズレター

第45号

ごあいさつ

はじめに、令和6年能登半島地震でお亡くなりになった方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。また、被災者の救援、被災地の支援にご尽力くださっています方々に深く敬意を表します。

さて、昨年の11月26日、雪が降りしきる厳しい寒さの中、第43回北海道支部大会が開催されました。少人数での対面開催の利点を最大限に活かしながら、「互いに学びあう」ことに焦点を当て、様々な楽器や小物を使いながら皆さんで和気藹々と活気溢れる時間を過ごしました。小グループでの演習および全体でのプレゼンテーションでは、実践に繋がる様々なアイデアを学びあったり、緊張の中にもユーモアたっぷりのロールプレーをしたり、リラックスした雰囲気の中で活発なフィードバックがありました。参加された方々にとって、ご自身の実践に対する考えや姿勢について、楽しく体験的に考える機会になったのではないのでしょうか。

その後、支部評議員会では、今年度の支部活動を振り返りながら、来年度の活動について話し合いました。特に、今年9月に札幌で開催される第24回日本音楽療法学会学術大会を見据えて、特に以下の2点を軸に議論しました。

- 1) 多くの北海道会員の皆様が学術大会に参加していただけることが重要であること
- 2) 全国から多くの方々に来てもらえる魅力ある学術大会の企画準備が必要であること

私たち北海道民にとっては、7年ぶりとなる地元開催の学術大会です。本州開催の大会に比べて移動費の負担が軽減され、多くの研究者や実践家と学び合うことができる貴重な機会であり、なんと言っても日頃の実践や研究成果を発表する絶好のチャンスとなります。学術大会は、もちろん学際的にも重要ですが、同時に、新たな人たちと出会い、繋がり、語り合うという楽しいお祭りでもあります。毎年1,000名を超える参

日本音楽療法学会北海道支部長 近藤里美

加者が集う学術大会ですが、特に本大会は対面を基本としておりますので全国からたくさんの方々の来札が予想されます。ぜひ多くの北海道支部会員の皆様に参加していただきたいと考えています。

今回の学術大会担当となった北海道支部では、評議員を中心に11名の実行委員会を組成しました。小規模な委員会のため、各実行委員のそれぞれの強みを生かしてアイデアを出し合いながら進めています。現在、学会本部および学会運業者さんと報告、連絡、相談をしながら、魅力ある大会開催の実現に向けて全勢力を注いでいるところです。今後は、北海道支部の会員の皆様にもご協力をお願いすることが多々あると存じます。

以上の点を総合的に判断した結果、支部評議員会では2024年度の春の支部大会を第24回日本音楽療法学会学術大会に振り替えることを提案させていただきます。特に北海道支部会員の皆さまにおかれましては、学術大会への参加、および演題発表を積極的に考えていただけますようよろしくお願い申し上げます。

これに伴いまして、2024年度の総会につきましても、引き続き書面議決とさせていただきます。どうか、会員の皆様にはご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に、現在、北海道支部ホームページには、第24回学術大会のホームページのパナーが掲載されています。こちらをクリックすると、大会に関する全ての最新情報を入手することができますので、ぜひご確認くださいませようよろしくお願い申し上げます。



2024年北海道支部総会について

事務局長 下出理恵子

支部会員の皆様におかれましては、いつも支部活動・運営にご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

2024年度の総会は、支部長のご挨拶にもありますように会員の皆様へ総会資料と書面表決書を郵送し、書面議決とさせていただきます。

総会（書面議決）の成立には、会員の皆様の過半数の書

面表決書のご提出が必要となります。また、総会の議決は提出された書面表決書の過半数の承認をもって可決となります（支部会則9条の2）。どうか会員皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。なお、決議の結果につきましては、集計が終了次第に、北海道支部ホームページにてご報告させていただきます。

第43回日本音楽療法学会北海道支部大会報告

研修委員会

一般演題

「即興ピアノ連弾での遊びにより自己表出が促された統合失調症患者の1症例」

..... 長谷部 夏子氏

グループワーク Part1

「みんなでセッションをデザインしてみよう」～声・身体・楽器を使った介入方法を考えましょう～

グループワーク Part2

「みんなでセッションをデザインしてみよう」～介入方法をロールプレイでシェアしましょう～

今年度2回目となる支部大会が、2023年11月26日(日)に札幌大谷大学で開催されました。前日の降雪の影響に伴う欠席もありましたが、27名(会員21名、一般6名)の方が参加されました。また、今大会においては、会員同士の交流の機会をより充実させながら「お互いに学びあうこと」を第一に考えて、外部講師を招聘せず、参加費を無料とする初めての試みでした。

午前は久しぶりの演題発表がありました。長谷部氏が発表者となり、精神科における個人音楽療法の事例を紹介されました。クライアントの依頼から始まったセラピストとのピアノ連弾のプロセスが丁寧に描かれており、非言語におけるコミュニケーションを一つ一つ紡いでいくことで、クライアントは徐々に自己を表出し始め、症状も改善されていったという貴重な内容でした。発表後、「音楽の臨床的な使い方」と「評価の仕方」をキーワードとし、グループごとに話し合っていました。貴重な実践場面の動画から、長谷部氏がクライアントの視点に寄り添いながら丁寧に連弾を進めていくプロセスがわかり、その場の雰囲気を含めた音の使い方や、音を介した関わりを具体的に実感できたという意見がありました。また多くの方から、クライアントと療法士の信頼関係のもとで、既存曲の連弾から発展したペントニックを使った即興的な連弾が、安心した協働作業(遊び)となって、クライアントの状態改善を促したことが理解できたという声が寄せられました。さらに、評価についての意見交換では、クライアントの体験や変化だけでなく、協働作業をするセラピスト自身の体験や変化も含めて、音楽を介した関わりについての評価をする重要性も指摘されました。

演題発表後は、「みんなでセッションをデザインしてみよ

う」というテーマの下、事前に配布された架空の事例(認知症高齢者A氏)に基づき、5つのグループに分かれて音楽療法の目的を設定し、声や身体、楽器などを使って介入方法を考えました。グループごとに療法士とクライアントの役割を決めて活動内容を吟味した後、午後にはロールプレイによるプレゼンテーションを行いました。選曲も介入のアプローチもそれぞれに創意工夫されており、説得力もあり、リアルなセッションに参加している気持ちになるほど、惹きつけられました。各グループの発表から、クライアントの状態を十分理解した治療目標の立て方の重要性を再確認したり、目標を達成するための活動の多様性について学び合うことができました。また、多くの参加者から、実践に活用する楽器の選び方や、楽器や小道具の使い方の選択肢が広がったとの意見がありました。各グループの発表後には、参加者同士によるポジティブなフィードバックが積極的に行われたり、適切なアドバイスを含めた多くの意見交換が行われて、改めて学び直すことの大切さを実感することとなりました。



長谷部 夏子氏

終了後のアンケートには、会員(19名)と一般(2名)からご回答頂きました。演題発表およびグループワークについて、回答者全員から「とても良い」または「良い」の高い評価がありました。今後も、会員の皆様が交流を深めながら学び合う企画を考えて参りますので、ぜひ支部大会へのご意見、ご要望をお寄せください。(文責：高田)



プログラム計画中



ロールプレイ1



ロールプレイ2

2024年学術大会 in札幌のご案内

第24回日本音楽療法学会学術大会 大会実行委員会のご紹介

(各委員から会員の皆さまへメッセージを送っていただきました)

【大会企画委員会】 講習会には、ワークショップを中心とした対面講習と、バラエティ豊かなオンデマンド講習を用意しました。大会オープニングには、大会テーマを反映する素敵な音楽コラボレーションを計画中です。会場となる札幌コンベンションセンターは、大規模改修工事を経て、新たな姿で私たちを迎えてくれます。皆さんが集い、学び、交流できる様々な企画を準備中です!

【演題関連委員会】 ぜひ多くの方に札幌にお越しいただきたいと思います。そこで、演題発表と自主シンポジウムは対面のみ、ポスター発表は対面とオンデマンドが選択できるようにしました。ぜひ多くの方に発表していただき、リアルなフィードバックを通じて議論を深めて頂けることを願っています。

【学生企画委員会】 音楽療法を学ぶ全国の学生さんたちが主体となり企画します。すでに札幌大谷大学で音楽療法を学ぶ学生さんたちが、音楽療法を学ぶ全国の学生さんたちに参加を募る手紙を送りました。少しずつ参加の輪が広がっているようです。

【懇親会委員会】 前回の北海道大会で大好評だった、ジギスカンと北海道工場直送のアサヒスーパードライで皆さまをお迎えます。リラックスした雰囲気の中、お互いを知る絶好の機会となるように、お腹を抱えての笑いや、「わあ〜!」とお仲間を驚かせる隠し芸などの「余興大会」を開催します。名付けて、「M1グランプリ」ならぬ「MT-1グランプリ」です。お一人でもグループでも、歌でも、踊りでも、演奏でもなんでもOKです。誰でも応募できます。もちろん、賞品もご用意します!

【SNS関連委員会】 「Facebook」、「X」、「instagram」を駆使して、皆さまの知りたい情報をお届けします。大会情報はもちろん、観光情報や楽しい美味しい耳寄り情報を、全国の皆様に向けて発信していきます。是非、北海道支部の皆様にもフォローして頂き、一緒に盛り上げて頂けると嬉しいです。下記のQRコードからフォローをよろしくお願い致します!



【お弁当委員会】 学会のお弁当にご当地名物が入っていると嬉しくなりますよね。「地元の私たちも名物は大好き!」のスローガンの元、試食会を挙行し、選りすぐりの4種のお弁当を選びました。全国から参加して下さる皆さんも満足して下さること間違いなしです。大会案内や大会ホームページにて、写真付きで紹介しますのでお楽しみに!

【広報・渉外委員会】 今回の大会には、音楽療法学会員はもちろんのこと、関連領域の方々にも多く参加していただけるように広報を進めます。大会テーマの通り、多くの方々が集い、繋がり、語り合う場となりますように、支部会員の皆さまにおかれましても、周りの療士仲間や関連分野の方々へ向けて、口コミによる宣伝をお願いいたします!

【大会オリジナルグッズ販売と寄付活動委員会】 大会テーマのイメージ作品公募には、11点にのぼる素晴らしい作品の応募がありました。評議員会での厳選な審査を経て、最優秀作品が選ばれ、今、大会ホームページを飾っています。今後、この作品から大会オリジナルグッズ(Tシャツやクリアファイルなど)を制作し、大会当日に販売します。なお、全純利益は、世界の災害・人災被害国への音楽療法支援へ、そして令和6年能登半島地震の被害に対する音楽療法支援へ、日本音楽療法学会本部を通じて使っていただきたいと考えています。ぜひ皆様のご協力をお願い申し上げます。

以上の委員会の他に、大会を盛り上げる「展示業者対応委員会」、大会運営に大切なボランティアを募集、調整する「ボランティア委員会」、大会のあらゆる側面での倫理的配慮に心を配る「倫理委員会」が活動しています。

大会実行委員会では、随時、支部ホームページやSNSにて大会情報を配信して参ります。特に、支部会員の皆様へは大会ボランティアについてもご案内させていただきますので、ご協力いただける方は、ぜひ定期的にご確認くださいようお願い申し上げます。

北海道支部評議員会より

①2023年度第5回評議員会

2023年9月26日(火)Zoom会議

- 報告事項 ・ 理事会報告 ・ 各委員会報告
- 審議事項 ・ 第43回支部大会について ・ 2024年学術大会in札幌について

②第6回評議員会

2023年10月23日(月)Zoom会議

- 報告事項 ・ 理事会報告 ・ 各委員会報告
- 審議事項 ・ 第43回支部大会について

③第7回評議員会

2023年11月15日(水)Zoom会議

- 報告事項 ・ 理事会報告 ・ 各委員会報告
- 審議事項 ・ 第43回支部大会について

④第8回評議員会

2023年12月20日(水)Zoom 会議

- 報告事項 ・ 理事会報告 ・ 各委員会報告
- 審議事項 ・ 第45号ニュースレターについて ・ 第44回支部大会について
・ 2024年学術大会イメージデザイン画応募について

支部会員の動向

2024年1月末現在会員数名 162名

編集後記

9月の学術大会に向けてより多くの会員の皆様に興味を抱き参加していただけますよう企画・準備を進めております。会場にて皆様と集い、学び、交流できますように評議員一同力を注いで参ります。

編集委員(近藤里美・常田いづみ・藤田悦子)

●事務局からのお知らせ

- 編集委員会では支部大会の様子を写真撮影しています。これらの写真は、支部ホームページやのニュースレターに掲載することがあります。もし不都合のある方は、事務局までご連絡ください。
- 北海道支部では、支部の最新情報はもちろんのこと、学会本部や全国各支部からの案内を、随時支部ホームページに掲載しています。ぜひ定期的に支部ホームページをご覧ください活用ください。
- ご住所や氏名の変更のある会員、各種手続きが必要な会員の方は、学会本部事務局までお問い合わせください。※北海道支部では手続きができませんのでご注意ください！

メールリングリスト作成に向けてのお願い

皆様への情報提供やご意見収集を、迅速かつ経費節減で実現するために、支部会員のメールリングリスト（メールアドレス登録）作成を推進中です。このメールリングリストは、今後の皆様の支部活動を円滑に進めるために必要不可欠なコミュニケーションツールとなります。しかし現在、メールアドレスを登録されている会員数は75名で、**全体の42%にとどまっています**。皆様の大切な情報は、支部事務局で一括して厳重に管理しております。どうぞ安心して、以下の登録方法にてメールアドレス登録をお願い致します。**すぐにできます!!**

メールアドレスの登録方法

会員番号とお名前を明記して、jmta.hokkaido.reiwa@gmail.comまで、メールを送信ください。メールの受信を確認次第、事務局から返信させていただきます。

登録の際にご不明な点などございましたら、北海道支部事務局へお気軽にご連絡ください。

ホームページもご覧ください

▶ 一般社団法人 日本音楽療法学会ホームページ <http://www.jmta.jp/> ▶ 北海道支部ホームページ <http://www.jmta-h.jp/>

一般社団法人 日本音楽療法学会北海道支部事務局

〒062-0922 札幌市豊平区中の島2条1丁目3-25 カムオンビル

Email:jmta.hokkaido.reiwa@gmail.com